

政策課

課長 横内 俊哉

事務事業評価票

事務事業名	新卒IJターン定住化促進事業
-------	----------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	新卒IJターン定住化促進事業費

部局名	政策部	課名	政策課	課CD	02100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	4 国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち		主な取組み	〇IJUターンや新規就農希望者への支援
基本施策(個別目標)	311	地域づくりの推進		5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	④新しい働き方・雇用の創出

＜事業の狙い＞	事業計画年度	27～31
超少子高齢型人口減少社会の到来を見据え、新たな人の流れの創出を図り、地域の若者の社会増につなげるもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 首都圏大学でのセミナー開催 県外出身者大学生に対し、松本地域の暮らしや働き方の魅力を伝えるセミナーを開催した。 参加者 40名(4会場)
2 ツアー開催 具体的な就職後のイメージをつかんでもらうために、前記1に併せ、実際に松本地域に学生を招聘し、地域の魅力に触れるとともに、企業訪問を実施した。 参加者 11名 企業訪問 3社

＜現状に対する認識＞
27年度より2年間同事業を実施しているが、参加者の実際の移住につなげることが難しいことから、これまでのノウハウを生かし、大学時代を松本地域で過ごす大学生(信州大学及び松本大学)の県外出身者をターゲットに加え、より直接性のある事業展開を図る必要がある。

＜指標の達成状況＞	総合評価	E			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	移住(定住)に至る参加者(累計) (単位:人)				
目標値	2	4	7	10	10
実績値	0				
達成度	0.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	1,520					
国・県	658					
利用者負担金						
その他						
一般財源	862					
② 人件費(千円)	1153.5	人工	人工	人工	人工	
正規	1153.5	0.15				
嘱託	0					
合計コスト①+②	2,674					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	政策課	課CD	02100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	一般企画(松本大学学部増設事業)
-------	------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	一般企画関係費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
松本大学の教育学部設置に要する経費に対し、松本市私立大学等学部等設置事業補助金交付要綱に基づき、市が補助金を交付することにより、大学の円滑な運営を支援するもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
松本大学教育学部設置に伴う設置事業補助金
1 補助金交付額 300,000,000円
2 補助対象経費 松本大学教育学部校舎建設工事費等 1,685,411,442円
3 財源内訳 長野県 150,000,000円 松本市 150,000,000円
4 根拠 松本市私立大学等学部等設置事業補助金交付要綱 補助対象経費の1/5 上限 150,000,000円 なお、長野県から交付される補助金を財源の一部として補助金を交付する場合には、補助額の限度を超えて補助金を交付することができる。

＜現状に対する認識＞
松本市内の私立大学は、地域の学術・文化の向上や若年層の人口増加による活力ある地域社会の構築、地域に貢献する人材の育成に寄与していることから、大学の円滑な運営に対する市の支援は必要であると捉えている。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)		300,000				
国・県		150,000				
利用者負担金						
その他						
一般財源		150,000				
② 人件費(千円)		769	人工		人工	
正規		769	0.1			
嘱託		0				
合計コスト①+②		300,769				
前年度比		—				

事務事業評価票

事務事業名	総合計画(第10次基本計画)策定事業
-------	--------------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	総合計画策定事業費

部局名	政策部	課名	政策課	課CD	02100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	9	基本構想、基本計画推進にあたって	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	0	基本構想、基本計画推進にあたって	主な取組み		
基本施策(個別目標)	901	質の高い行政経営の実現	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	26 ~ 28
第9次基本計画の計画期間満了に伴い、本市のまちづくりの設計図となる新たな5か年計画として第10次基本計画(基本構想2020の後期計画)を策定するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 28年度の経過
28. 5. 25 庁内委員会(計画案の協議)
6. 6 庁議(")
13 議員協議会(計画案の意見聴取)
15~ パブリックコメント(")
7. 3 市民懇談会(")
8. 2 庁内委員会(計画案の協議)
8. 24 庁議(計画の報告)
9. 5 議員協議会(計画の報告)
2 総合計画の印刷(配布)
(1) 総合計画冊子 2,420冊
(2) ダイジェスト版 7,000部

＜現状に対する認識＞

総合計画(第10次基本計画)を市民・関係機関及び関係自治体等に広く周知するとともに、同計画の各基本施策に掲げる成果目標の達成を目指し、各部署において積極的に事業推進を図る必要がある。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	第10次基本計画策定に係る進捗状況				
目標値	100.0%				
実績値	100.0%				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	4,740				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源					
② 人件費(千円)	7690	人工	人工	人工	人工
正規	7690	1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	12,430				
前年度比	—				

事務事業評価票

事務事業名	シティプロモーション推進事業
-------	----------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	シティプロモーション推進事業費

部局名	政策部	課名	政策課	課CD	02100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	6 大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち		主な取組み	○シティプロモーションで松本の魅力を発信
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜事業の狙い＞	事業計画年度	27～28
<p>松本の魅力を市内外に向けて戦略的に発信するシティプロモーションを推進する。</p> <p>特に、国宝松本城と城下町に誇りと愛着を持ち、市民のお城を中心としたまちづくりへの意識向上と地域活性化を図りながら、「城下町 松本」の魅力を伝えていく。</p>		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
<p>全庁的にメンバーを募集し、「城下町松本再生プロジェクト」を推進</p> <p>1 松本城テーマ映像作品「国宝松本城ものがたり」の活用</p> <p>(1) 「国宝松本城ものがたり」(平成27年度制作)を市内小中学校・地域づくりセンターへ配布地域学習活動教材として活用</p> <p>(2) 第14回全国地域映像コンクールで、最高賞グランプリを受賞。松本市の知名度UPに貢献</p> <p>(3) 同映像を英語化(100枚制作)。旅行代理店・宿泊業者等へ配布し、外国人観光客等に活用</p> <p>2 小学生作文コンクールの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「松本城・城下町松本を学ぼう!書こう!作文コンクール」を開催 ・小学生の年代から松本城・城下町に対する理解や郷土愛を醸成(応募数:168作品) <p>3 松本旧町名かるたの活用方法の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民団体が制作した「松本旧町名かるた」の活用方法を開発 ・中央地区子ども会、ふれあい健康教室で実施。旧町名を身近に感じ、城下町気分を醸成 <p>4 スマートフォンアプリを活用した地域活性化・観光振興イベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Ingressで城下町松本を巡ろう!」を開催(参加者数:176人) ・名所、史跡、歴史的建造物及び店舗を巡る仕組みで、城下町の魅力を体感。まちを活性化 <p>5 お菓子を活用した城下町松本のPR活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松本あめ市に、松本城・城下町にちなんだ市内菓子店のお菓子ブースを出店 ・販売及びプロモーション活動を実施することで、城下町文化の再発見を促した。(来場者数:1,792人 購入者数:254人 売上額:252,495円 協力菓子店舗数:9店舗) <p>6 鷹匠の復活に向けた放鷹術実演の研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松本城本丸庭園における放鷹術実演の実施を調整 ・旧町名にちなんだ催しを実施することで、城下町文化の継承及び観光資源化を図る。(実施は、平成29年11月に予定)

＜現状に対する認識＞
<p>「城下町松本再生プロジェクト」により、最小限の経費で、お城を中心としたまちづくりへの意識向上につながる手法を開発することができた。開発した取組みは、今後、関連部局や関連団体が継続することで、一層の効果が発現すると考える。</p> <p>なお、それぞれの部局が実施する全ての事務事業がシティプロモーションに通じることを全職員が認識し、シティプロモーションを自らの「コト」として事業の企画・実施に当たり、また、広く市内外へ政策発信に努める必要がある。</p>

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	地域ブランド調査魅力度ランキング				
目標値	50位以内				
実績値	49位				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	国・県					
	利用者負担金					
	その他					
	一般財源	702				
② 人件費(千円)	人工	769				
	正規	769	0.1			
	嘱託	0				
合計コスト①+②	1,471					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	政策課	課CD	02100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	ユニバーサルデザイン推進事業
-------	----------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすするまち	主な取り組み		
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	ユニバーサルデザイン推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

ユニバーサルデザインの推進に向け、4つの分野(ひとづくり、まちづくり、ものづくり、ソフトづくり)を定め、市民、行政、民間団体、事業者等が協働し、ユニバーサルデザインのまちづくりを推進するもの。

- <事業の実施内容及び活動指標(実績値)>
- 松本市ユニバーサルデザイン推進会議の設置及び開催(2回開催)
 - 広報まつもと特集号(広報11月号掲載)
 - 啓発パンフレットの発行(市内小学6年生へパンフレット配布)
 - 一般社団法人まつもとUD研究会への参画

<現状に対する認識>

推進基本指針の進捗状況について、評価検証を行い、客観的な評価検証、市民意識の醸成を図るため、外部員による検証会議を開催。その結果、更なる普及、意識啓発を図る必要があると認識している。

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	1,026				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,026				
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	1,795				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	政策課	課CD	02100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	新庁舎建設事業
-------	---------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	9	基本構想、基本計画推進にあたって	市長公約	公約	10 意欲と情熱をもって、未来志向の行財政運営を進めます
政策の方向(まちの姿)	0	基本構想、基本計画推進にあたって		主な取組み	○新市役所庁舎の検討
基本施策(個別目標)	901	質の高い行政経営の実現	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	新庁舎建設事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	28 ~ 37
老朽化等の問題を抱える現庁舎を建て替えることで、将来にわたり、来庁者や職員の安全安心を確保するとともに、満足度の高い行政サービスを提供する環境を整えること。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 庁内委員会の運営 (1) 委員会 2回 (2) 幹事会 2回 (3) 作業チーム 4回
2 ロードマップの策定 29. 1. 19 庁議(協議) 29. 2. 8 総務委員協議会(協議)
3 庁舎建設基金の積立て (1) 地方自治法第241条第1項の規定に基づき、基金を積立てたもの (2) 積立て額: 1,000,000千円

＜現状に対する認識＞
新庁舎建設の必要性を議会や市民と共有し、市全体が一丸となって計画を進める必要がある。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	新庁舎建設ロードマップに示した各年度における計画等の実施状況				
目標値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
実績値	100.0%				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	1,000,000				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,000,000				
② 人件費(千円)	7,690	人工	人工	人工	人工
正規	7,690	1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	1,007,690				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	政策課	課CD	02100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	負担金
-------	-----

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	9	基本構想、基本計画推進にあたって	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	0	基本構想、基本計画推進にあたって	主な取り組み		
基本施策(個別目標)	901	質の高い行政経営の実現	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

組織へ加入することで情報交換及び情報共有を図ることができる。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- ・松本広域連合
32,781,000円
- ・全国過疎地自立促進連盟
79,200円
- ・全国特例市連絡協議会
50,000円
- ・地方自治研究機構
45,000円
- ・大系線利用促進輸送強化期成同盟会
200,000円
- ・姫川港整備促進同盟会
15,000円
- ・中央東線高速化促進広域期成同盟会
20,000円
- ・篠ノ井線松本地域活性化協議会
192,000円

＜現状に対する認識＞

加入については、見直すことも必要と考える。

＜指標の達成状況＞

総合評価		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
区分	成果指標(指標名)					
①	成果指標(指標名)					
	目標値					
	実績値					
	達成度					
②	成果指標(指標名)					
	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	33,382				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	33,382				
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	34,151				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	政策課	課CD	02100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	行政評価事業
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	9	基本構想、基本計画推進にあたって	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	0	基本構想、基本計画推進にあたって	主な取組み		
基本施策(個別目標)	901	質の高い行政経営の実現	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	行政評価事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

全事務事業の内部における事務事業評価の実施をするとともに、市民からの評価(市民の満足度)を把握する調査(アンケート)を実施

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 内部評価 全事務事業を対象に内部評価を実施
2 市民満足度調査 第10次基本計画で実施している各分野の施策の進捗状況を継続的に把握することを目的に実施 対象 全世代(20歳以上80歳未満の市民) 期間 第1回 平成28年11月17日～12月12日 第2回 平成29年1月17日～2月13日 対象数 2,400人(回収数:1,253件 回収率:52.2%)

＜現状に対する認識＞

第10次基本計画が策定され、事業の成果指標、進捗管理指標へ向けた着実な推進を目的とした、事務事業評価手法を検討することが必要と考え、平成29年度から新たな事務事業評価を実施
市民満足度調査についても、若者・女性(出産、子育て世代)を対象的に絞った調査も必要と考え、全世帯と若者・女性(出産、子育て世代)を隔年で実施する。

＜指標の達成状況＞

総合評価		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
区分	外部評価実施基本施策数					
① 成果指標(指標名)	外部評価実施基本施策数					
	目標値	-	14	28	42	56
	実績値	-				
	達成度	-				
② 成果指標(指標名)						
	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	2,440				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源	2,440			
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工
	正規	769	0.1		
	嘱託	0			
合計コスト①+②	3,209				
前年度比	-				

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	政策課	課CD	02100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	「健康寿命延伸都市・松本」の創造事業
-------	--------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすするまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	「健康寿命延伸都市・松本」の創造事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
市民一人ひとりが健康を増進し、明るく元気に暮らすまち「健康寿命延伸都市・松本」の創造を、市民と産学官が一体となり、連携、協働して進めるもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 「健康寿命延伸都市・松本」の創造協議会の開催 創造協議会開催数 年間3回開催 (うち1回は松本版地方創生総合戦略の取組みに対する検証を目的に地方創生拡 大版を開催)
2 PRへの取組み 「健康寿命延伸都市・松本」の市民への更なる啓発・周知のためPR活動を実施 ① ピンバッジ販売 ② 新たなりフレットの作成(第10次基本計画を反映) 5,000部 ③ 玄関前掲揚旗の作成

＜現状に対する認識＞
「健康寿命延伸都市・松本」の創造協議会を、年間3回開催しているが、松本版地方創生総合戦略の取組みに対する検証機関としての位置づけあり、3回のうちに1回は検証を行い意見聴取をしている。 平成29年度からは、第10次基本計画の進捗管理を目的とした、評価機関としても位置付けている。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	584					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	584					
② 人件費(千円)	1823	人工	人工	人工	人工	人工
正規	1538	0.2				
嘱託	285	0.1				
合計コスト①+②	2,407					
前年度比	—					

事務事業評価票

事務事業名	県営空港対策事業
-------	----------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	県営空港対策事業費

部局名	政策部	課名	政策課	課CD	02100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	6 大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち		主な取組み	○信州まつもと空港の国際化や機能強化の研究
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H23～
運行会社等への支援を通じて、県内唯一の空の玄関口である信州まつもと空港を活用した観光振興、地域活性化を進める前提となる、航空路線の維持、充実を図る。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 ネーミングライツ事業 フジドリームエアラインズ(FDA)の機体にロゴ・キャラクターを掲出 2 スポンサー支援事業 地元企業・団体がスポンサー事業を活用した広告・宣伝事業を行う経費を支援(スポンサー企業による支援 企業数 5社) 3 既存路線の拡充、新規路線開拓事業 県の方針に基づき、既存路線の拡充の他、国内、国際チャーター便の新規路線等について、運航会社等と調整、要望 4 地元対応 地元地区の地域振興策等への対応及び地区空港対策委員会へ交付金の交付による地元理解の促進 ・地元地区空港対策委員会総会、連絡回への参加 5回 ・交付金 500千円 5 全国民間空港市町村協議会への参画 ・空港フォーラム、事務担当者研修会への参加 2回

＜現状に対する認識＞
・事業を通じて、地元の理解促進、運航路線維持が図られる。 ・ネーミングライツ事業が5年を経過したことから、あり方について再度検討する必要がある。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	信州まつもと空港定期便数(便/日)				
目標値	6	6	7	7	7
実績値	6				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	20,748				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	20,748				
② 人件費(千円)	1538	人工	人工	人工	人工
正規	1538	0.2			
嘱託	0				
合計コスト①+②	22,286				
前年度比	—				

都市交流課

課長 松林 典泰

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	都市交流課	課CD	02150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	国際交流推進事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	国際交流推進事業

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

姉妹・友好都市以外の海外都市との国際交流を推進するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 台湾・高雄市との交流(H27.7.24 交流の覚書を締結)
 - セイジ・オザワまつもとフェスティバルにあわせ、高雄市高校生等の音楽教育旅行の受入、両市高校生等交流事業の実施
 - 松本市美術館にて、高雄市高校生、松商学園高校、スズキメソードによる音楽会の開催
 - 松本大学にて、両市の学生同士の交流や学校関係者による意見交換
 - 松本城・上高地等視察、そば打ちの体験
- 国際チャーター便(台湾)の運航調整
 県の方針に基づき、国際チャーター便の運航について、長野県、運航会社、旅行業者等と調整、要望

<現状に対する認識>

双方向の交流事業数を増やしていくとともに、継続的に実施することに努める。

<指標の達成状況>

		総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	交流事業数					
目標値	2	2	2	2	2	
実績値	2					
達成度	100.0%					
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	2,592				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	2,592				
② 人件費(千円)	14,704	人工	人工	人工	人工
正規	11,996	1.56			
嘱託	2,708	0.95			
合計コスト①+②	17,296				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	都市交流課	課CD	02150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	国際姉妹・友好都市交流事業
-------	---------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	1	平和、人権を尊重するまち	市長公約	主な取組み			
基本施策(個別目標)	213	多文化共生の推進	5つの重点目標				
—	—	—	松本版総合戦略				

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	国際姉妹・友好都市交流事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
海外姉妹・友好都市等との友好交流を推進するもの	

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- スイス・グリンデルワルト村中学生訪問団の受入事業
3年に1度、ホームステイによる受入・交流事業の実施
 (1) 松本市長表敬訪問
 (2) 松本城・上高地視察
 (3) 鉢盛、安曇、大野川中学校にて授業への参加、映像による両市の紹介、日本文化の体験等の交流事業を実施
 (4) 乗鞍地域住民との交流会、ホームステイの実施
- 日本・ネパール外交関係樹立60周年記念 カトマンズ市公式訪問
5年に1度、松本市民とともに公式訪問を実施
 (1) カトマンズ市長表敬訪問
 (2) 記念植樹の実施
 (3) 松本市写真展の開催
 (4) 震災の復興状況及び武道館視察

<現状に対する認識>

・行政間の交流にとどまらず、市民交流、特に若い世代の交流事業を研究
 ・イベント、HP等を通じて、互いの都市の紹介、PRを実施し国際交流への関心を高めることに努める。

<指標の達成状況>

		総合評価		B		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	4姉妹・友好都市累計来松者数					
	目標値	1,012	1,022	1,032	1,042	1,052
	実績値	1,120				
	達成度	110.7%				
② 成果指標(指標名)						
	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	2,750				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源	2,750			
② 人件費(千円)	14,444	人工	人工	人工	人工
	正規	13,304	1.73		
	嘱託	1,140	0.4		
合計コスト①+②	17,194				
前年度比	—				

事務事業評価票

事務事業名	松本暮らし定住化促進事業
-------	--------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	松本暮らし定住化促進事業費

部局名	政策部	課名	都市交流課	課CD	02150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	4 国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち		主な取組み	〇IJUターンや新規就農希望者への支援
基本施策(個別目標)	311	地域づくりの推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出

<事業の狙い>

事業計画年度	18 ~
--------	------

ふるさと暮らしに関心のある、都市部に在住する各世代の交流人口の増加を図るとともに、定住化を促進するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 移住希望者からの住居、就職、就農等相談対応
相談件数278件(セミナー、電話、メール等)
- 移住セミナーの開催
就農セミナー、起業セミナー、安曇野市・塩尻市合同によるセミナー等実施
セミナー開催数 8回
セミナー参加者数 164人
- 移住者数実績
14世帯 32人(移住者から本市に報告を受けた件数)
- ホームページ等による定住促進情報の発信

<現状に対する認識>

地域との連携による移住者受入体制の構築を検討

<指標の達成状況>

		総合評価		B		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	移住世帯数					
目標値	16	16	17	18	20	
実績値	14					
達成度	87.5%					
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	688				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	688				
② 人件費(千円)	5,252	人工	人工	人工	人工
正規	4,768	0.62			
嘱託	485	0.17			
合計コスト①+②	5,940				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	都市交流課	課CD	02150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	ふるさとまつもと寄附金推進事業
-------	-----------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	6 大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち		主な取組み	○シティプロモーションで松本の魅力を発信
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	松本版総合戦略	③	松本製品のブランド化

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	ふるさとまつもと寄附金推進事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	26 ~
--------	------

ふるさと納税制度を活用し、本市の魅力を発信し寄附金の獲得を図るとともに、ふるさとへの思いや納税に対する意識の向上等を図ります。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 実績
寄附件数 1,041件
寄付金額 20,132,074円

2 返礼品の見直し
5品目⇒19品目
【主な返礼品目:すいか、りんごなどの農産物のほか、伝統工芸品など】

3 ふるさと納税を活用した松本の魅力をPR
(1) 寄附者に対し、本市の観光情報、健康寿命延伸の取組み、広報まつもと等を返礼品とともに発送し、本市のPRを実施
(2) ホームページやふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」による情報提供

＜現状に対する認識＞

- 寄附金の使途を明確にし有効に活用するとともに、本市の魅力を効果的にPRしふるさと寄附金の確保に努める。
- ふるさと納税に対する返礼品の取り扱いについて、総務省から全国各都市に通知されているため、他都市の対応状況を踏まえ、本市の対応を検討する。

＜指標の達成状況＞

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	寄附件数					
目標値	1,000	1,125	1,250	1,375	1,500	
実績値	1,041					
達成度	104.1%					
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	5,542				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	5,542				
② 人件費(千円)	4,919	人工	人工	人工	人工
正規	3,922	0.51			
嘱託	998	0.35			
合計コスト①+②	10,461				
前年度比	—				

広報課

課長 手島 学

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	広報課	課CD	02280000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	広報広聴業務
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	9	基本構想、基本計画推進にあたって	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	0	基本構想、基本計画推進にあたって	主な取組み		
基本施策(個別目標)	904	松本の魅力発信力の強化	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	広報広聴業務費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

市民の誰もがまちづくりに関心を持ち、主役としてまちづくりに参加できるように、広報まつもと、市ホームページ、ツイッター等SNS及び市政広報番組(テレビ、ラジオ)の内容充実を図り、市政情報の共有化を進めるもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- ホームページの利用促進
知らせたい情報がわかりやすく確実に市民に伝わり、市民の知りたい情報が簡単に入手できるよう改善
- ソーシャルメディアの活用
災害時に必要とされる確かな情報を迅速に発信できる体制を整えるため、ソーシャルメディアや既存のメディアを活用したクロスメディアを展開

＜現状に対する認識＞

- 市ホームページをリニューアルし、より市民に利用しやすいサイトとした。さらにブラッシュアップするとともに、ツイッターとの連携を図る。
- 平成26年度以降、市ホームページのアクセス数が減少していたため、平成25年度のアクセス数(実績値)を成果目標としたが、平成28年度に達成できたので、あらたな目標値を検討したい。

＜指標の達成状況＞

		総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	市ホームページのアクセス数					
目標値	12,000,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000	
実績値	13,681,113					
達成度	114.0%					
② 成果指標(指標名)	市ツイッターの利用者数(フォロワー数)					
目標値	15,000	16,250	17,500	18,750	20,000	
実績値	14,800					
達成度	98.7%					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	74,575				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	74,575				
② 人件費(千円)	47,000	人工	人工	人工	人工
正規	38,450	5			
嘱託	8,550	3			
合計コスト①+②	121,575				
前年度比	—				